

各団体の在宅医療・介護連携の推進に向けた取組の状況等について

団体名	在宅医療・介護連携に関する各団体の取組	成果	課題	県（や他団体）に要望すること（協働したいこと）
岩手県地域包括・在宅介護支援センター協議会	①現在、実施している取組みはない。 医療・介護の他職種間の意見交換会や研修等の実施を検討しているが、構想段階であること。		①連絡調整等	
岩手県看護協会	①訪問看護の推進に向けた看護職員の確保対策 ②（地域包括支援センターの充実・保健師の配置） ③研修会やセミナーの開催 セミナー：岩手県の地域医療連携の現状からみた課題	①県委託事業の「岩手県版新人等訪問看護師育成プログラム作成事業」を進め、訪問看護ステーションの看護師確保対策に活用	②地域包括支援センターは、担当区域が広く、また、高齢者のみならず、子育て支援、障がい者支援など、地域での包括ケアを必要とする事例も多くあり、センター機能の充実が求められる。 保健師は医療的ケアや福祉制度にも精通しており、多職種のつなぎ役として重要であり複数配置が必要。	①（県）訪問看護ステーションが新人を採用するときの「教育期間に対する補助」の支援 ②（県）保健師の人員確保対策 ③県委託研修は、研修内容を周知し、参加者を多くするため、県の企画は早期に公開してほしい。

<p>(岩手県看護協会)</p>	<p>研修会：訪問看護ステーションと病院施設の相互研修、訪問看護研修、看護管理者対象の研修</p> <p>④関係団体との連携、情報提供 (県訪問看護ステーション協議会、県医師会、県歯科医師会、県薬剤師会、県助産師会等)</p>			
<p>西和賀町</p>	<p>①医療・介護関係者の情報共有支援としての情報共有シートの作成</p> <p>(②資源不足の地域における在宅医療介護連携の推進方法について)</p>	<p>①平成 26 年度に町立病院が主導して「医療と介護の連携シート」を作成</p>	<p>①平成 30 年 4 月からの介護保険法改正に伴い、国から示された様式に内容が沿っておらず、必要な見直しが進んでいない。</p> <p>②訪問看護実施事業所が少なく、人材不足により事業所を閉鎖した事例がある。</p>	<p>①(他団体) 情報共有シートの作成、調製状況及び入退院支援ルールの実例の提供</p> <p>(県) 地域連携クリティカルパスの意義及び活用事例について情報提供や勉強会の開催</p> <p>②(他団体・県) 在宅医療介護連携に関する医療職に対する意識醸成の推進</p> <p>圏域内に資源が少ない場合の取組方法(人材確保策)についての情報提供</p>
<p>岩手県介護支援専門員協会</p>	<p>①在宅医療人材育成研修会(介護支援専門員向け)の開催(H28~)</p> <p>②歯科医師会への研修講師派遣(「在宅歯科診療」におけるケアマネの役割)</p>	<p>①開催地区：H28・29 は計 4 地区で開催(H30 は 3 地区) 参加者：246 名(H28・29)</p>		

	<p>③薬剤師会への研修講師派遣（「在宅における薬剤師とケアマネ連携・在宅同行訪問/アセスメントの実際」）</p> <p>④ICTを活用した医療介護連携ネットワーク構築への参加（気仙、宮古、胆江地区）</p> <p>⑤入院時連携加算、退院連携加算取得における連携シートの活用（厚労省のひな型やカスタマイズによる利用）</p> <p>⑥入退院時のケアカンファレンスへの参加（ケアマネ個々の加算取得に向けた情報収集の場となっている。）</p> <p>⑦サービス担当者会議での多職種協働</p>	<p>⑦主治医の意識が向上しており、医師の参加者数が増加している。</p>		
<p>岩手県歯科医師会</p>	<p>①在宅医療人材育成研修の実施（H28～）（在宅療養に必要な歯科医療の推進及び歯科と介護分野との連携等の研修）</p>	<p>①在宅療養に必要な歯科医療の推進及び歯科と介護分野との連携、高齢患者等における麗容改善による虚弱の予防の知識を得ている。</p>	<p>①県全域での研修会の必要性がある。保健福祉団体との連携が十分でない。</p>	<p>①（他団体）研修会の開催に際し、講師派遣をお願いしたい。また、在宅歯科医療の重要性を周知する機会を頂きたい。 （県）継続的に事業実施いただきたい。また、医療と介護・福祉分野の連携構築推進のためのネットワーク作りをお願いしたい。</p>

<p>(岩手県歯科医師会)</p>	<p>②岩手県在宅歯科医療連携室整備事業 (住民の在宅歯科診療の要望を受け、在宅歯科診療を実施している歯科診療所に情報を提供する。また、東日本大震災における被災地域の自治体等を通じ、仮設住宅等における住民からの要望を受ける)</p> <p>③地域包括ケアシステム構築に向けた取組推進</p>	<p>②住民からの在宅歯科診療の要望を、在宅歯科診療を実施している歯科診療所に情報提供している。また、仮設住宅等における住民からの要望等の対応</p>	<p>②在宅歯科診療の啓発に重点を置く必要がある。</p> <p>③地域包括ケア会議等への歯科医師の参加状況が低い。</p>	<p>②(他団体)県内にある13地区歯科医師会も在宅歯科診療の窓口となっているので、活用いただきたい。</p> <p>(県)在宅医療が推進されているが、歯科においてはまだ連携が不十分であるため、引き続き事業を実施いただきたい。</p> <p>③(他団体)地域包括ケア会議等への歯科医師の参加についてご配慮いただきたい。</p> <p>(県)地域包括ケアシステムの構築が急がれているが、地域包括ケア会議等への歯科医師の参加について、市町村への働きかけをお願いしたい。</p>
<p>岩手県訪問看護ステーション協議会</p>	<p>①市民公開講座による普及啓発 平成30年度事業:「人生の最終段階を一緒に考えてみませんか」</p> <p>②訪問看護管理者研修の開催</p> <p>③(医療的ケア児について)</p>	<p>①県内3地区で開催 宮古:55名 (一般40名、専門15名) 中央:70名 (市民24名、専門56名) 奥州:今後実施</p> <p>②46名参加</p>	<p>医療的ケア児への対応</p>	<p>(県)医療的ケア児は、現状どのようなになっているのか。</p>

<p>岩手県医師会</p>	<p>①在宅医療体制支援事業（県補助事業） 在宅医療に取り組む医師の支援を目的に平成 28 年度から開始。</p> <p>②県主治医研修事業 平成 29 年度：「在宅医療推進に向けた盛岡市医師会の取り組み」について研修 平成 30 年度：未定</p>	<p>①平成 28 年度：専任者配置 平成 29 年 6 月： 「岩手県医師会在宅医療支援センター」を設置。</p> <p>平成 30 年 2 月： コーディネーター（薬剤師兼介護支援専門員）を配置し、「奥州サブセンター」を設置。</p> <p>平成 30 年 7 月： 在宅医への代診医派遣等のモデル事業開始。 (10 月中に 1 件見込み)</p>	<p>①現在の診療報酬の状況等を踏まえた、モデル事業の見直しが必要。</p>	<p>①モデル事業の見直しを踏まえた新たな事業の実施に係る支援。</p>
<p>岩手県薬剤師会</p>	<p>①地域薬剤師会における在宅医療推進におけるアンケート調査の実施及び在宅医療に関する実績調査在宅医療に関する地域薬剤師会担当者会議の開催 ※平成 23 年度から毎年 1 回開催</p> <p>②在宅医療人材育成研修（薬剤師向け）の実施</p>	<p>①継続することにより、情報共有に留まらず、抽出された課題を検討する場としても貴重な機会となっている。</p> <p>②研修修了者（H29）：35 名 フォローアップ研修修了</p>	<p>①他職種との合同研修会が未実施の地域があること、在宅医療に取り組んでいる薬局と消極的な薬局の二極化が進んでいることがうかがえる。</p> <p>②人体モデルを活用したプログラムで実施しているが、人</p>	<p>①（他団体）他職種との合同研修会が未実施の地域においては早期開催、及び実施している地域においては継続開催へのご協力をお願いしたい。 （県）他職種が参加する研修の開催の支援（運営・マネジメント）。</p> <p>②人体モデルの購入費用を検討いただきたい。</p>

<p>(岩手県薬剤師会)</p>	<p>※県事業を平成 27 年度から受託実施</p> <p>③多職種連携による在宅における薬学的管理推進モデル事業の実施 ※県事業を平成 28 年度から受託実施</p> <p>④市町村職員等在宅医療・介護連携基礎研修への講師派遣 ※平成 28 年度から</p> <p>⑤介護支援専門員との連携ツールの作成</p> <p>⑥「ケアマネジャー情報カード」の作成及びお薬手帳にケアマネ情報を記載するページを設ける</p>	<p>者 (H29) : 26 名</p> <p>③薬に関して何らかの問題を抱えている患者に対して保健師及び介護支援専門員等と薬剤師が同行訪問を行い、多職種で連携しながら課題を抽出し、対応策を実施したことにより、薬学的管理等状況が改善された。</p> <p>④地域における薬剤師の役割や訪問薬剤管理業務を周知する機会となっている。</p> <p>⑤介護支援専門員との連携を具体化するものとする。</p> <p>⑥介護支援専門員との連携を具体化するものとともに、患者及び患者家族等</p>	<p>体モデルを所有する施設を借用せざるを得ない(地域開催が難しい)。</p> <p>③薬剤師の訪問薬剤管理業務が住民だけでなく、関係する他職種の方々にも理解されていない。</p> <p>④講演時間が短い。</p> <p>⑤周知に関して地域差があり、十分に活用されているとは言えない。</p> <p>⑥周知に関して地域差があり、十分に活用されているとは言えない。</p>	<p>③(他団体)左記の課題があることから、各団体の研修の機会に薬剤師業務の紹介をさせていただきたい。 多職種が参加する研修の継続開催。 (県)他職種が参加する研修の開催の支援(運営やマネジメント)。</p> <p>④(県)そうそうたる講師陣に対して参加者が少なく、もったいない。</p> <p>⑤(他団体)地域ケアマネ協議会と合同研修会を開催して周知させていただきたい。 (県)各団体の活動を県民に周知していただきたい。</p> <p>⑥(他団体)地域ケアマネ協議会や地域包括支援センターと合同研修会を開催して周知させて</p>
------------------	---	---	---	---

<p>(岩手県薬剤師会)</p>		<p>に意識していただくことの一助となると考える。</p>		<p>いただきたい。 (県) 各団体の活動を県民に周知していただきたい。</p>
<p>盛岡市</p>	<p><u>①ア地域の資源把握</u> ・在宅医療を行う医療機関や訪問看護ステーション等の資源把握を実施。内容は年に一度関係機関に確認し更新している。</p> <p><u>②イ在宅医療・介護連携の課題の抽出と対応策の検討について</u> ・多職種の委員で構成される在宅医療介護連携推進事業連絡協議会を設置し、年数回課題の抽出・検討を行っている。</p> <p><u>③ウ 切れ目のない在宅医療と在宅介護の提供体制の構築 及びエ 医療・介護関係者の情報共有の支援</u> (1) 医療と介護関係者の顔の見える関係づくりのため日常生活圏域単位で多職種研修会や交流会を開催。 (2) 平成30年度の重点取組事項として「緊急時連絡票」の内容と運用方法の見直しを検討中。</p>	<p>①気軽にアクセスでき活用しやすい。</p> <p>②多職種が一堂に話し様々な意見が発言されており、最新の情報共有する場になっている。</p> <p>③-(1)特に、主治医への声掛けや相談がしやすくなった。</p> <p>③-(2)運用が軌道に乗れば、救急医療の現場では患者の受け入れ判断を迅速に行うことが出来る。</p>	<p>①高齢者はホームページを活用できない方が多く、問い合わせを受けた際は、紙媒体で提供している。</p> <p>②抽出された課題をどのように解決に導くか。組織横断的な取り組みが必要。 ・何をもって課題が解決したとするか判断しにくい。</p> <p>③-(2)介護保険申請に係る決定通知に緊急時連絡票を同封し、月に一度のモニタリングの際に、ケアマネジャーが変</p>	<p>①(他団体)情報の更新に御協力いただきたい。</p> <p>①～⑦全て(県)同規模の他市における先進事例の紹介や、国や県全体の動きについて情報提供いただきたい。</p> <p>③-(2)運用へ協力いただきたい。</p>

<p>(盛岡市)</p>	<p>④オ <u>在宅医療・介護連携に関する相談支援</u> ・医療・介護の連携に関する相談窓口を開設し相談に対応。</p> <p>⑤カ <u>医療・介護関係者の研修</u> ・在宅医療推進のため、医師、看護職、介護職それぞれを対象とした研修会や、多職種を対象とした研修会を開催。</p> <p>⑥キ <u>地域住民への普及啓発</u> ・市民公開講座や住民対象の出前講座を開催した。</p> <p>⑦ク <u>在宅医療・介護連携に関する関係市町の連携</u> ・医療・介護に係る研修会について広域8市町にも周知し参加を呼び掛けた。</p>	<p>かかりつけ医は、自身の患者が入院したことを素早く把握できる可能性が高まり、診療情報提供書の提供につながる。ケアマネジャーも、情報提供を行うこととなり、加算取得となる。</p> <p>④・医療・介護の関係者の他、地域住民の相談にも対応している。</p> <p>⑤様々な内容で研修会を開催し、在宅医療を担う人材の育成を図った。</p> <p>⑥地域住民にも広く在宅医療や在宅死、高齢者施設に関する知識の普及が図られた。</p> <p>⑦在宅医療・介護連携に対し広域で取り組む意識を高める一助となった。</p>	<p>更点の確認を行う流れを考慮しており、ケアマネジャーの理解が必要である。</p> <p>また、各関係機関が、緊急時連絡票の運用方法を理解し活用いただけるよう、あらゆる機会に周知を行う必要がある。</p> <p>④相談件数があまり多くな く、周知が課題と考えている。</p> <p>⑥今後も普及啓発が必要であるが、普及する側のマンパワー不足が課題</p>	<p>⑥（他団体）テーマによって講師の派遣に御協力いただきたい。</p> <p>⑦（県）広域で取り組むべき課題に関して主導していただきたい。</p>
--------------	--	---	--	--

